

令和6年度 子どもたちの学びを支える経済的な制度の主なもの(中学校・義務教育学校卒業後)

令和6年4月1日現在

名称	種別			保証人	制度の概要 (詳細は問い合わせ先でご確認ください)			問い合わせ先				
	給付	貸付	減免等		対象	内容	その他	各学校	島根県	福祉事務所	社福協	その他
1 特別支援教育就学奨励費 (特別支援学校)	○				特別支援教育学校に就学する児童生徒	就学の経費(保護者の負担能力の程度に応じて負担)	・生活保護法による高等学校等就学費]との併用はできません。	○	特			
2 (公)高等学校等就学支援金 (私)高等学校等就学支援金			○		「保護者等の課税標準額(課税所得額)×6% - 市町村民税の調整控除の額」で算出した額が304,200円未満の世帯	授業料 → 支援金は学校に対して支給されます。 → 私立高校については授業料と支給された就学支援金との差額が発生する場合、差額分については負担する必要があります。(授業料減免制度を利用する方を除く)	・私立高校については独自の待遇制度がある学校もあります。詳細は各学校にお問い合わせください。	○	企			
3 私立高等学校等の授業料減免制度			○		①県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税の世帯、または家計急変により所得割額が非課税相当となった世帯の生徒 ②世帯年収590万円以上910万円未満に相当する世帯	①就学支援金と授業料との差額分 ②月額:2,500円	・補助金が、学校法人に対して支給されます。	○	総			
4 (公)高等学校等奨学のための給付金 5 (私)高等学校等奨学のための給付金	○				・保護者等が島根県内に居住している生徒 ・県民税所得割及び市町村民税所得割が非課税の世帯、生活保護法の規定による生業扶助を受けている世帯の生徒	教育費(授業料以外)		○	企			
6 島根県高等学校定時制課程等 修学奨励資金		○		要	・経常的収入を得る職業に就いている生徒 ・年間収入額279万円以下 ・通信制課程については島根県内に住所を有する生徒	奨学金(月額)14,000円	・日本学生支援機構の奨学金とは併用できません。	○	企			
7 高等学校定時制・通信制課程 教科書等給与費		○			一定の修得単位数等の基準を満たす有職の生徒	教科書等無償給与		○	企			
8 島根県育英会高等学校等奨学資金		○		要	・島根県出身の生徒 ・経済的理由により修学が困難な生徒	・奨学金(月額)公立18,000円又は23,000円、私立33,000円又は38,000円 ・入学支度金 私立のみ23,100円	・他資金との併用は原則できません。 ・予約採用、予約緊急採用、在学採用、在学緊急採用	○				島
9 県立高等学校生徒用端末等購入奨学資金 (無利子)		○			令和6年4月に島根県内の県立高等学校(通信制課程を除く)に進学を予定している生徒	・島根県内の県立高等学校(通信制課程を除く) ・生徒用端末等購入費(71,940円)の3分の1を島根県教育委員会が助成し、その残りの3分の2の個人負担額(47,960円)が奨学資金の貸与額です。	育英会が奨学資金を奨学生に交付する方法でなく、育英会が奨学生に代わって貸与相当額を生徒用端末等納入業者に一括支払う方法	○				島
10 島根県立高等技術校授業料減免			○		経済的理由等によって授業料・寄宿舎使用料の納付が困難な方	・授業料・入校料(全額免除、2/3減免、1/3減免) ・寄宿舎使用料(全額免除、半額減免、1/4減免)		○				
11 生活保護法による高等学校等就学費	○				生活保護受給世帯で、市町村福祉事務所が必要と認めた方	就学の経費(基準額あり)	・他資金との併用は原則可能(条件あり)です。 ・特別支援教育就学奨励費との併用はできません。			地	○	
12 生活保護法による技能修得費	○				・生活保護受給世帯 ・生計の維持に役立つ生業に就くために必要な技能を習得する経費を必要とする人で市町村福祉事務所が必要と認めた方	技能修得費(年間)原則、87,000円以内(1年を限度とする)	状況によっては給付期間の延長または給付額の増額があります。			地	○	
13 生活保護法による就職支度費	○				・生活保護受給世帯 ・就職の確定した人で、市町村福祉事務所が必要と認めた方	就職支度費33,000円以内				地	○	
14 生活福祉資金(教育支援資金) 【教育支援費・就学支度費】		○		△	・島根県内に居住 ・収入が少ない世帯で、公的資金等を借入れることが困難であると認められる世帯の方	①教育支援費(月額)高校35,000円以内、 高専・短大60,000円以内、大学65,000円以内 ②就学支度費(①と併用可)50万円以内	・他の資金が利用可能な世帯は貸付に制限があります。 ・専修学校も対象です。	○				民
15 生活福祉資金 【福祉資金(技能習得費・福祉費)】		○	(○)	△		①技能習得費:就職に必要な知識・技能の習得経費 130万円以内(6ヶ月程度)~580万円以内(3年以内) ②福祉費:就職、技能習得等の支度のための経費 50万円以内	・他の資金が利用可能な世帯は貸付に制限があります。 ・連帯借受人・連帯保証人を立てない場合は有利子となります。	○				民
16 母子父子寡婦福祉資金 (就学支度資金)		○		△	・高校、高等専門学校及び専修学校(高等課程)へ入学若しくは修業施設へ入所する子がいるひとり親家庭の方 ・上記学校等に入学する父母のない児童(要連帯保証人) ※収入による貸付制限があります。	就学支度費用を無利子で貸付(貸付上限額) ①高校・専修学校(高等課程)(国公立)150,000円(私立)410,000円 ②高専(国公立)410,000円(私立)580,000円 ③修業施設 272,000円 ※自宅外の場合10,000円を追加	※松江市の制度については、松江市役所子育て給付課(電話0852-55-5942)までおたずねください。		青	○	※	
17 母子父子寡婦福祉資金(修学資金)		○		△	・高校、高等専門学校及び専修学校(高等課程)で修学する子がいるひとり親家庭の方 ・上記学校に修学する父母のない児童(要連帯保証人) ※収入による貸付制限があります。	修学の経費を無利子で貸付(貸付上限月額) ①高校・専修学校(高等課程) 27,000円~ ②高専(1~3年) 31,500円~ ※私立の場合及び自宅外の場合、増額あり	※松江市の制度については、松江市役所子育て給付課(電話0852-55-5942)までおたずねください。		青	○	※	
18 母子父子寡婦福祉資金(修業資金)		○		△	・修業施設へ入所する子がいるひとり親家庭の方 ・修業施設へ入所する父母のない児童(要連帯保証人) ※収入による貸付制限があります。	就職に必要な知識・技能の習得経費を無利子で貸付(貸付上限月額) 68,000円	※松江市の制度については、松江市役所子育て給付課(電話0852-55-5942)までおたずねください。		青	○	※	
19 母子父子寡婦福祉資金 (就職支度資金)		○		△	・就職が内定しているひとり親家庭の方 ・就職が内定している父母のない児童(要連帯保証人) ※収入による貸付制限があります。	就職支度経費を無利子又は低利子で貸付(貸付上限額) 105,000円(就職に直接必要な被服・履物等の購入)	※松江市の制度については、松江市役所子育て給付課(電話0852-55-5942)までおたずねください。		青	○	※	
20 島根「ふるさと」看護奨学金		○		要	卒業後、看護師等として県内の医療施設等(指定機関)で所定の期間勤務する意志のある方	一括貸与 60万円	・在学する看護師等養成施設は、県外も含まれます。 ・「Uターン枠」「過疎・離島枠」「助産師枠」の区分があります。 ・募集人員枠があります。	○	看			

<保証人欄の見方> ○=保証人が必要 △=保証人が必要な場合がある

<問い合わせ先の見方>

【各学校】 在籍または進学予定の学校

【島根県】

〔企〕:教育委員会学校企画課 就学支援係 0852-22-5410

〔特〕:教育委員会特別支援教育課 企画係 0852-22-5420

〔総〕:総務部総務課 私学・県立大学室 0852-22-5017・5018

〔地〕:健康福祉部地域福祉課 生活保護係 0852-22-6525

〔青〕:健康福祉部青少年家庭課 0852-22-6688

〔看〕:健康福祉部医療政策課 看護職員確保スタッフ 0852-22-5613

〔医〕:健康福祉部医療政策課 医師確保対策室 0852-22-6684

【福祉事務所】 お住まいの市町村の福祉事務所

【社福協】 お住まいの市町村の社会福祉協議会

島根県社会福祉協議会 生活支援部福祉資金係 0852-32-5996

【その他】

〔教委〕:お住まいの市町村の教育委員会

〔民〕:お住まいの地区の民生委員

〔島〕:島根県育英会 0852-28-1981

〔日〕:日本学生支援機構 (奨学事業相談センター・ナビダイヤル) 0570-03-7240